

●技術情報

Q&A

[7] 家畜糞尿処理

Q7-1 鶏ふん処理に石灰窒素がよく使われると聞いていますが、養鶏場での使い方を高床式と平飼式に分けて説明して下さい。

A7-1 養鶏法を大別すると、平飼式とケージ式があり、規模が大きいところではケージ下と地表面の間を一段と高くした高床式が多くなっています。高床式では除ふん後の床面に1,000㎡当たり石灰窒素60～80kg散布し、その後は夏で5～6日後、春秋で7～8日おきに新しいふんの上に散布し、およそ30～40cmの厚さに堆積したところに除ふんするのが目安です。平飼式やケージ下が地表に近い場合は、除ふん後、成鶏100羽当たり約1kg散布、高床式と同じ日数間隔で100羽当たり0.5～1kgの散布を2～3回繰り返してから除ふんします。石灰窒素を使用しても鶏に悪い影響はなく、むしろ舎内外の環境が良くなり、産卵率が高まったという事例もあります。